

小牧山山頂所在 徳川義親氏銅像の移設について

令和5年度施工予定の史跡小牧山主郭地区第2工区整備工事に先立ち、山頂南側の石垣石材上に所在する銅像「徳川義親氏之像」の移設を令和4年度中に計画しています。像の概要及び移設案については下記のとおりです。



写真1 徳川義親氏銅像



図1 銅像の位置と主郭地区整備工区割図

◆銅像の概要

像(全身) : ブロンズ製 200cm (日展会員・高藤鎮夫氏製作) ※全身像1・15倍

台座 : インド黒御影石・ニューインテ赤御影石 高さ180cm・幅90cm

建立費 : 16,000,000 円

除幕式 : 昭和60年(1985)10月6日

銘板 : (台座正面)「尾張徳川家第十九代 徳川義親氏之像」

(台座側面)「小牧山は、昭和五年十月尾張徳川家十九代徳川義親氏により小牧市に贈られて以来、自然公園として広く一般市民に親しまれ愛されてきました。

小牧山が贈られて満五十五年、しかも市制施行三十周年の意義深い機会をとらえ、徳川義親氏のご厚志に報い、そのご遺徳を永く後世に伝えるため、広く市民の浄財を得て銅像をここに建立しました。
昭和六十年十月吉日 徳川義親氏顕彰会」

【徳川 義親 氏】(明治19年生～昭和51年没・89歳)

尾張徳川家19代当主。(現当主義崇氏は22代) 越前松平家より尾張徳川家の養子となり、明治41年当主となる。以降、侯爵・貴族院議員として活動し、徳川美術館、蓬左文庫を設立。昭和5年(1930)、同氏により小牧山が小牧町(当時)に寄贈される。

◆尾張徳川家の意向

平成 28 年 5 月 12 日、市長が徳川義崇氏(尾張徳川家第 22 代当主)を訪問し、銅像を小牧市歴史館内に移設する可能性がある旨を示し、徳川氏より了承を得ている。

◆銅像の移設先

(与件) 山中・史跡地内で新たに別の設置場所を設定することは、史跡の現状変更として認められない。

案 小牧市歴史館1階に移設する。
像と台座の一部を館内で展示。



歴史館 1階 に 移設